

福岡県立大学大学院 看護学研究科

看護学専攻 修士課程

入試概要 2025年度[令和7年4月入学]

募集人員	看護学専攻：12名 このうち、助産コースの定員は5名です
試験科目	面接：自己推薦書、成績証明書に基づく
出願期間	2024(令和6)年6月17日(月)～6月24日(月)17時必着
試験日	2024(令和6)年7月6日(土)
合格発表日	2024(令和6)年7月12日(金)

入試の詳細は
ホームページ
をご覧ください。



募集人数を満たさなかった場合は、追加選抜を行うことがあります。

ACCESS

- JR**
 - 博多方面から
博多駅→田川伊田駅(約1時間20分)徒歩約15分
 - 小倉方面から
小倉駅→田川伊田駅(約1時間)徒歩約15分
- 平成筑豊
鉄道**
 - 行橋方面から
行橋駅→田川伊田駅(約50分)徒歩約15分
 - 直方方面から
直方駅→下伊田駅(約30分)徒歩約10分
- 西鉄
バス**
 - 福岡(天神)方面から
西鉄天神高速バスターミナル→
福岡県立大学(約1時間25分/構内乗入れ)
学生向け福岡都市圏+筑豊地区バス乗り放題定期券
「筑豊エコルカード」(1ヶ月19,500円)が使えます。
- 車**
 - 福岡市方面から
国道201号(八木山バイパス経由)下伊田交差点で右折
 - 北九州方面から
九州自動車道の八幡ICから本学まで約20分
九州自動車道の小倉南ICから本学まで約30分
 - 大分方面から
東九州自動車道の行橋ICから本学まで約25分



福岡県立大学



公立大学法人 福岡県立大学

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395 TEL 0947-42-2118 FAX 0947-42-6171

福岡県立大学 大学院 看護学研究科 <https://www.fukuoka-pu.ac.jp/graduateSchool/nurse/>



GRADUATE SCHOOL OF NURSING 2025
FUKUOKA PREFECTURAL UNIVERSITY

看護学研究科

教育目的

地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的担い手である高度専門職業人としての看護職者や看護学の創造と発展に貢献できる研究者・教育者を育成する

学長メッセージ



大学院における学びは、既存の理論知や他者の経験知との照らし合わせや自身の内省を通じた未知の課題発見およびその解決を目指して、専門職業人として培った価値観や経験知を再考し、その再検証によって、新たな知を創造することにあります。本学大学院看護学研究科においては、少子高齢化社会を迎え、地域包括ケアシステムの構築とそれに対応した技術革新が求められる現在、その変革を担う、第一線の研究者、高度専門職業人の育成を目指しています。

当看護学研究科には、研究コース、専門看護師コース（現在募集停止中）、助産コースの3コースがあります。仕事を続けながら修学する環境を整備していますので、それぞれのコースにおいて、実践の中で抱いた問題意識を学修に反映させ、修得したことを実践に反映させるという有機的な課題連携学習を深めていきます。在学中は言うまでもなく、入学に際しての支援から修了後のリカレント研修まで支援体制が充実しています。また、授業においては、国内の著名な講師陣も加わり、わが国の保健医療福祉界の専門的な知識を教授しますので、現代社会の諸課題に対応できるよう実践科学、研究について学修できます。今後の我が国の看護科学を担えるよう、価値ある研究を行ってほしいと思います。

人々の健康と自己実現に寄与すべくより専門性を高めたいと願っている、探究心とチャレンジ精神にあふれた人、是非当看護学研究科の門戸を叩いてください。福岡県立大学大学院看護学研究科の教員は、全力で皆さん方の夢の実現を応援します。

理事長・学長 柴田 洋三郎
Yosaburo Shibata

看護学研究科長メッセージ



看護学専攻では、研究コースと助産コースを開設しています。臨床現場での課題を解決したり、教育への理解を深めたり、看護学を探究するために必要となる理論や研究方法を学びます。また、将来助産師を目指す方は、助産の基礎となる助産学を通して、実践につながる知識・技術を修得します。働きながらも履修できるよう、研究コースは、全科目メディア授業・長期履修制度・夕方の開講など、学修環境を整えて皆さまをお待ちしています。

看護学部 学部長／大学院 看護学研究科長 石田 智恵美 教授
Chiemi Ishida

看護学研究科の特徴

人間を理解するための学術的な幅広い知識を兼ね備え、社会や対象が抱えている健康上の問題の本質を多角的視点から思考・判断し、多職種と協働し、諸課題に対し適切な看護が選択できる高度看護専門職者を育成します。

地域の保健・医療・福祉分野の施策展開を推進する中核的担い手である高度専門職業人としての看護職者や、研究者・教育者を養成し、社会で活躍するリーダーの育成を目指しています。そのため、現職の課題を本研究科において、教授陣と共に検討し、課題解決のための方策を導き出すための支援を行います。

- 1 看護学研究科は、研究者養成と実践者養成からなります。
- 2 実践者養成では、老年看護と精神看護の2つの専門看護師コース（現在募集停止中です）、助産コースがあります。大学院教育により、保健・医療・福祉社会での役割を担うことができる実践能力をもった人材の育成を目指します。
- 3 学士の学位は有していないが、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた人は受験資格があります。
- 4 2年間の修士課程の授業料で3年間在学して単位が取得できる制度として、看護職等医療職の方が在職したままキャリアアップできるように、長期履修制度を設けています。
- 5 働きながら学ぶ方のニーズにも対応できるように、夜間・土日に開講する授業、メディア授業の形態を取り入れた学修環境を整えています。

アドミッション・ポリシー 求める学生像

1 看護学を学ぶための基本的知識を有している。

- (1) 看護を学ぶ基礎的知識を有している。
- (2) 専門分野に関心と問題意識を有している。
- (3) 専門分野の知識を基に研究の見通しを立てることができる。

2 専門知識を用いて、主体的に課題を解決し社会に貢献できる資質を有している。

- (1) 看護学に関する未知の課題を主体的に解決できる資質を有している。
- (2) 専門性を高め、社会に貢献したいという熱意と意欲を有している。

3 学習を深めるための基礎的能力を有している。

- (1) 学習を深めるために必要な基礎的教養(学力)を有している。
- (2) 課題解決に必要な柔軟な発想と思考を備えディスカッションを深めることができる。
- (3) 専門知識を用いて自分の考えを論理的に説明できる。

研究コース

研究コースでは臨床看護や看護教育を、根拠をもって行うことにつながる基礎的な研究や、看護学や看護教育学の発展につながる研究を行う能力を培い、医療機関等や教育機関あるいは行政機関で、組織の管理者や教育者として看護の質の向上や看護教育の質の向上に寄与しうる人材の育成を目指しています。



教員からのMessage



成人看護学
福田 和美 教授

看護の現象を探求しませんか？

看護は実践の科学といわれています。本学の研究コースでは、看護実践の場で起きている現象を科学的に分析し、得られた成果を臨床の場に還元するために、研究方法を学び、主体的に研究を遂行できる能力を養うことを目指します。

本学は社会人学生が受講しやすいようにオンデマンド授業が中心です。また、多くの学生や教員と研究についてディスカッションする場(合同ゼミ)を設けており、多角的な視点を身につけ、課題解決につなげることができます。

ぜひ一緒に看護の現象を探求しませんか？お待ちしております。

【研究コース】修士論文テーマ一覧

修了年度	論文題目
2022	我が国におけるフライトナースの他職種連携実践能力に関連する要因の検討
	術後患者の呼吸状態の観察場面における看護学生のシミュレーション学習前後の眼球運動の変化
	小中学校の教職員におけるフリースクールに対する認識に関する研究 ー福岡県内を対象にー
2023	看護大学生の臨地実習前後の自己効力感
	訪問看護師における子どもの発育に関する知識と身体アセスメント技術との関連
	看護師の職業的アイデンティティと達成動機、ワーク・エンゲイジメントに関する検討 ～A県中小規模病院で働く看護職を対象にして～

在学生からのMessage



自分らしさを表現できる場所

内藤 美玲さん

福岡県立大学 M1

福岡県立大学を卒業後、大学院に入学しました。学部生の時に感じた疑問をもとに研究を深めたいと思い、進学を決めました。また、福岡県立大学の先生方のもとで学びたいという気持ちが強かったことも進学の手となりました。入学当初は同期の社会人の方々に圧倒され、落ち込むこともありましたが、新卒だからこそそのフレッシュな意見が自分の強みだと気づき、楽しみながら積極的に授業に参加しています。より専門性が求められる場面が多く、試行錯誤の日々ですが、とても充実しています。将来は大学で学生のサポートを行いながら、研究者として、自分の関心のあることをより突き詰めていきたいと考えています。



Do, or do not. There is no try.

金谷 史哉さん

新行橋病院 救急外来 M1(長期履修生)

「看護は実践する科学」。その言葉通り大学院で看護学を探究しつつ、現在も救急外来で働いています。就労しながら進学することに迷いはありましたが、パンフレットの在校生メッセージで「やるか、やらないか」との言葉に刺激を受け受験を決めました。両立が大変なこともありますが、大学院での学びが看護に深みを与え、患者に還元できると思うと楽しくて仕方がありません。このパンフレットを手にとっていらっしゃる皆さんなら、きっと私と同様の「楽しみ」を実感できると思います。

専門分野を探究し、知的好奇心の高まりを実感しています

辻 理恵子さん

福岡県立大学非常勤職員
M3(長期履修生)

看護教育に携わるなかで、研究を通して専門分野を探究し、教育者としての専門性を高めたいと思い大学院へ進学しました。なかでも、看護教育学に関する授業では“教育の視点で考える”ことについてディスカッションしたり、先生の研究にもふれさせていただく機会があり、研究と教育実践とのつながりについて深く学びました。授業のたびに思考を巡らせ、新たな学びや気づきを得ることで、探究する意義や知的好奇心の高まりを実感しています。

学生生活を送る中では、長期履修制度を利用して大学院と仕事との両立を図っています。様々な場面で難しさを感じることもありますが、あたたかくご指導くださる先生方に支えていただきながら学習や研究に取り組んでいます。

教授 永嶋 由理子(看護心理学)
 教授 石田 智恵美(看護教育学)
 教授 江上 千代美(実験看護学)

▶ 基礎看護学

基礎看護学分野では、看護の基盤となる看護の主要概念について多様な観点から検討し、理解を深めていきます。また、理論に基づく効果的な看護技術教育について、看護技術の教育実践を分析する方法と学生の力を引き出し高める教育方法を探究します。さらに、従来用いられている看護技術の根拠について、実験的手法を用いて検証する方法や、効果的な看護技術の開発を推進する能力を修得します。

▶ 看護心理学

看護心理学では、心理学を基軸として看護学を論理的・科学的に探求していく理論と方法を修得します。特に、看護技術の熟達化や看護学生・看護職の内的特性や変化について学修していきます。看護技術の熟達化については、ベナー看護論や心理学的視点から議論を重ね理解を深めていきます。また看護学生や看護職の内的特性や変化を自己効力感や達成動機、レジリエンス、職業的アイデンティなどの視点から研究的に解明していく理論と方法を修得します。

▶ 看護教育学

患者教育・看護師教育・学生教育・自己教育など、看護に関わる教授＝学習過程に共通する教育理論や方法論について修得し、その根底にある教育哲学について学修します。看護教育を実践・研究することのできる人材を育成することを目的としています。修了生は、各大学の教員として臨床の教育者として活躍しています。

▶ 実験看護学

実験看護学では、形態機能学と生理学に基づいた根拠あるケアを論理的・科学的に探究する理論と方法を学びます。さらに現在健康課題や社会問題となっている看護を取り巻く事象について取り組まれている看護実践の有用性について、実験手法を用いて検証を行います。

教授 尾形 由起子(地域看護学)
 教授 松浦 賢長(思春期ヘルスプロモーション)
 教授 波止 千恵(在宅看護学)

▶ 地域看護学

わが国の喫緊の課題である在宅医療や在宅療養の支援と支援システムを研究課題とする研究を進めています。これまで、子育ての社会化(ソーシャル・キャピタルの視点)、地域に住む中年期男性統合失調症患者と老親の支援、在宅で療養する神経難病患者の支援ネットワーク形成に係る保健師の調整技術、末期がん患者の在宅ケアシステム構築に係る連携、2型糖尿病患者の看護等について保健師の視点で研究を行っています。

▶ 思春期ヘルスプロモーション

思春期の母子保健、学校保健、思春期保健を対象とする中、特に性的問題や精神疾患・発達障害等の研究に力を入れています。課題背景となる家族問題や虐待、不登校・ひきこもりについては実践に即した社会的な支援の仕組みのあり方を探求します。妊娠期から乳幼児期・児童期・思春期に至る過程の課題、すなわち母子保健と学校保健については政策・施策を踏まえた研究課題を設定していきます。

▶ 在宅看護学

在宅看護学分野では、地域で暮らす人々が安心・安全な療養生活を継続できるための看護の実践を探求しています。高度な看護技術のみならず、暮らしから看護課題をとらえ自助・互助を視野にいた多職種連携などチームアプローチの視点から研究を進めています。

教授 福田 和美(成人看護学)
 教授 村方 多鶴子(精神看護学)

▶ 小児看護学

子どもの最善の利益を守ることを基本理念に、乳児期から思春期発達段階の子どもの健康時、急性・慢性・ターミナル期、障がい、在宅などあらゆる健康段階や状況における成長発達や生活環境を理解し、その子らしく家族とともに生活できるよう、生活の質向上や健康増進のための実践と研究方法について意見交換しながら探求します。

▶ 成人看護学

成人期にある患者(家族)を生活者の視点、ライフサイクルの視点、健康レベルの視点でとらえ、患者の生命及び患者(家族)のQOLの向上に寄与する実践、研究を追求します。地域包括ケアに対応できる看護職者が求められている現在、臨床での看護を基礎とし、成人期にある患者(家族)の身体・心理・社会的側面に関わる諸課題を探究する能力、理論・看護の概念モデルを用いた看護を実践する能力を備えた人材の育成を目指します。

▶ 老年看護学

在宅・施設および医療機関というあらゆる場における様々な健康課題を持つ高齢者とその家族に対する教育や援助のためのアセスメントツール、倫理的課題解決の方法、対象者をとりまくケアシステム構築のプロセスやチームアプローチの方法、専門的看護の方法を経験や事例をもとに検討できる能力を修得します。

▶ 精神看護学

精神看護学では、子どもから高齢者まで幅広い方を対象としています。そのため、既存の理論やモデルを用いて、それぞれの発達段階におけるメンタルヘルスについて学習します。また、精神科病院内の看護に限らず、地域・在宅を含めた幅広い領域で課題を見つけ、その課題を探求し、研究につなげていく能力を修得します。

教授 杉浦 和子(助産学)

▶ 助産学

ウィメンズヘルス、リプロダクティブヘルスの観点、周産期の倫理、管理、実践において、主体的に探求する能力を養います。多角的な視点を持ち、多様な意見を受け入れ、研究能力の向上を目指します。将来は、培われた能力を臨床や教育分野で発揮し、さらに活動領域を広げていくことに役立てることが出来ます。

助産コース

目指せる専門職

□ 臨床家（助産師） □ 研究者 □ 教育者

助産コースは、周産期の様々な課題に対応するため高度で自律した助産実践能力を身につけた助産師の育成を目指すコースであり、助産師国家試験受験資格を取得することができます。また規定の科目を習得することで、受胎調節実地指導員申請資格・新生児蘇生法「専門」コース認定申請資格も取得することができます。



演習（妊婦の支援）



演習（授乳支援）



学習風景



講義内でのディスカッション



演習（出生直後の新生児ケア）

教員からのMessage



助産学
杉浦 和子 教授

このページをご覧いただきありがとうございます。
本学の助産コースは、豊富な助産師経験を持つ教員や専門職による教授により、専門的な知識と高い技術を習得することができます。豊かな人間性も養われ、将来は臨床助産師、教育者、研究者への道が開けます。
助産師を目指す方、本学でお待ちしております。



先輩方の主な就職先

- 飯塚病院
- 産業医科大学病院
- 東野産婦人科
- エンゼル病院
- 福岡徳洲会病院
- 医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院
- 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院など

在学生からのMessage



妊娠期から育児期だけでなく、女性の一生を支えることができる助産師を目指し、日々学びを深めています。同じ助産師を目指す5人だからこそ意見交換を行いやすく、お互いに高め合いながら成長できます。また先輩方とのつながりも深く、安心した学生生活を送ることができます。皆さんも私たちと一緒に自分が理想とする助産師を目指しましょう！

看護学研究科の 修了生の今

2007年4月に本研究科は開講してから、修了生は130名(2024年3月時点)に達しており、臨床・教育現場の第一線で活躍しています。



医療法人社団尚蘇会 エンゼル病院 産婦人科 助産師

久我 美里さん

助産コース 2024年3月修了

対象者とともに歩み支えることのできる助産師へ

本学の看護学部卒業生でもあります。ホリスティックな視点の下、対象となる方々に寄り添う関わりを学びたいと思い、本学大学院に進学しました。全人的に対象者を捉えることを基礎に置き、講義や実習を通して幅広い知識や技術を学び、同期の仲間と共に学び支え合いながら充実した日々を過ごすことができました。現在は臨床の現場で助産師として勤務しており、一つとして同じことのない分娩や産後に至るまでの母子に関わっています。大学院での学びを活かし、対象者にとっての黒子となりともに歩み支えることのできる助産師として、今後も学んでいきたいと思っています。



久留米大学病院 高度救命救急センター 看護師

深町 由華里さん

研究コース 2023年3月修了

自分の可能性を信じて

仕事、子育てをしながらの学業に不安がりましたが、オンライン講義や講義の時間を調整していただいたことで、無理なく単位取得ができました。修士論文は何度もくじけそうになりましたが、進むべき方向性を示していただき、無事に書き上げることができました。先生方のご指導の賜物と感謝いたしております。修士課程で学んだことによって、臨床の場で起こる事象を、理論的・科学的な視点で考え、経験を知識に変換するすべを学べたと思います。大変なこともありますが、自分自身に自信を持つきっかけとなり、より看護が好きになりました。

精神看護学の教育者を目指して

福岡県立大学 看護学部 助教

植田 愛さん

研究コース(精神看護学) 2017年3月修了

本大学を卒業後、地元の総合病院の精神科で勤務していました。恩師の勧めもあり大学院に進学し、修了後は精神看護学の教員として大学で動いています。教育の難しさはありますが、学生の成長する姿を講義や実習の中で実感できることが喜びです。大学院で出会った先輩や同期の方とは今でも交流があり、情報交換を行ったり研究を一緒にすることもあります。これからもつながりを大切にしながら精神疾患を抱える方への理解者が少しでも増えるように教育に励むと共に、精神疾患の予防に向けた研究活動や地域活動にも挑戦していきたいと思っています。

学生支援体制

学務部に学生支援担当教員を配置し、大学院生の相談等に対応できる体制を整えています。個別対応はもちろん、各学年から選出された代表学生を通じて、学年全体への対応も行えるようにしています。また、看護学研究科専用の院生室も整備しています。院生室には院生専用の机とロッカーがあり、無線LANによるネットワーク環境も整えています。このような体制のもと、院生は安心して学習に取り組むことができ、充実した院生生活を送っています。さらに修了後にも、保健医療福祉の学術的な発展と臨床・教育の実践の質向上を目指したネットワークづくりを行っています。

1 在学中の支援

- 院生室に、院生専用の机、ロッカー、無線LANによるネットワーク環境を整えています。
- 学生相談窓口として、各学年の代表学生1名が担当しています。また、大学院担当(学務部会)の教員の中から3名が学生支援担当者として学生に関わっています。
- 国内学会参加費補助制度があります。

2 修了後の支援

- FPUMN²
(福岡県立大学大学院看護学研究科ネットワーク)
代表:吉田静
(研究コース 2009年修了)
当研究科の在学生・修了生による知的・実践的なネットワークで、保健医療福祉の学術的な発展と臨床・教育の実践の質向上を目指します。また、専門看護師の資格取得支援、継続的実践能力の支援、修士論文の学会発表・投稿等の支援も行っています。

3 学費等

入学科	県内居住者:282,000円 県外居住者:520,000円
授業料	535,800円 (前期、後期で分納)
授業料の減免	経済的理由等により授業料の納付が困難で、かつ学業が優秀と認められる場合に授業料の全額(または半額)を免除する制度があります。

詳細は、掲示コーナーでお知らせします。

4 奨学金

日本学生支援機構、本学及びその他(地方公共団体・民間団体・病院等)の奨学金があります。

実施主体	内容	備考
日本学生支援機構	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第一種(無利子貸与) 月額5万円、8万8千円から選択 ■ 第二種(有利子貸与) 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択 	4月上旬に説明会を開催しますので、希望者は必ず出席してください。
福岡県立大学	学費負担者の被災や病気等により修学を継続することが困難な学生に対し、貸与総額60万円を越えない範囲で貸与します。	自然災害等の特別な事情がある場合を除き、採用は原則毎年度1名となります。

その他の奨学金については、掲示コーナーでお知らせします。

本研究科の詳細は ホームページ <https://www.fukuoka-pu.ac.jp/graduateSchool/nurse/> をご覧ください。

お問い合わせは 福岡県立大学アドミッション・オフィス
TEL 0947-42-2118 〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395